

研修資料の著作権に関する留意点

【研修資料の活用条件】

資料（引用している箇所を除く）について、
下記の条件において活用できます。

① 出典を明示する。

例：「キャリア教育研修 県立総合教育センター」

② 資料全体をそのままの形態で活用する。

③ 校内研修に限る。

兵庫県立総合教育センター

3 年間指導計画を生かすために

- 教育活動をキャリア教育の視点で「つなぐ」
- 年間指導計画を生かすために
- キャリア教育推進のためのカリキュラム・マネジメント



キャリア教育の視点から 教育活動を振り返る



「宝」を生かすために



身に付けさせたい力を
焦点化する



特別活動

教科



学校での
日常生活



関連する「宝」を
つなぐ

例：キャリア教育の4本の柱



全体計画

学校として、キャリア教育の
基本的な在り方を内外に示すもの

めざすべき
子ども像が
子ども達にも
保護者にも通じるか

全体計画を具現化

年間指導計画

- ①学年等に応じた資質・能力の目標を決定する。
- ②全体計画で計画した各資質・能力の目標に基づき、内容を検討する。
- ③到達目標に応じた評価の観点を設定し、明確にする。

今の子ども達には
これが必要と
絞る意識が大切

関係する教科等を整理する。

実践を評価するための手立てや改善の方策を検討する。

[消費者教育を生かしながら、キャリア教育の年間指導計画を立てよう]

5

洗い出す

- ・消費者教育の年間指導計画を「基礎的・汎用的能力」のフィルターを通して、洗い出してみると
- ・「課題対応能力」「人間関係形成・社会形成能力」はカバーできているが、
- ・「自己理解・自己管理能力」「キャリアプランニング能力」は弱いことが分かった。

つなぐ

- ・そこで、他の教育活動から今ある「宝」を探してみると、
- ・体育祭の反省や冬休みの計画づくりなど「自己理解・自己管理能力」につながる活動が見いだされた。
- ・しかし、これでも「キャリアプランニング能力」の育成の機会是不十分のままのようだと考えた。

検討する

- ・「キャリアプランニング力」を身に付けさせるため、「販売計画の立案」にプロからのアドバイスを組み入れることにした。
- ・さらにそれを発展させて、様々な職業の人からの講話を聴いて、それらを踏まえながら自らの将来計画を立案する機会を設けることとした。

[今年度のキャリア教育の年間指導計画《9月～12月抜粋》]

消費者教育を生かした取組
新規に追加する取組

キャリア教育の 重点目標

- 進んで新しいことに挑戦し、従来の方方法にとらわれずに物事を進める方法を考えることができる
- 社会には多くの役割があることを理解し、自分が果たすべき役割を分担することができる

	教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
9月				・体育祭(学校行事) ・体育祭を成功に導いたもの(学級活動)
10月	・Reach Your Dream(外国語)	・法について考えよう	・販売計画の立案(価格、個数) ・プロからのアドバイスをもとに販売計画を修正しよう《新規》	外国語、道徳、総合的な学習の時間と特別活動がつながって、将来を設計する力を高めるための系統的な学びになり、その成果は、早速、冬休みにも生かされそうだね。
11月	・私たちの消費生活(技術・家庭)	・希望に向かって	・商品の宣伝・販売	
12月		・個性を伸ばそう	・様々な職業の人の話を聴き、自分の将来に向けてのプランを立てよう《新規》	

協働型学校評価到達目標	自分はかけがえのない存在であることを理解し、自信を持って行動できる生徒の育成										
自分づくり教育の目標	生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む。										
3学年で重点化する力	①みつめる力			②かかわる力			③みとおす力				
	・自分の良さを理解できる力 ・自分の役割が分かる力 ・ストレスをコントロールする力			・望ましい人間関係をつくる力 ・進んで考えや気持ちを伝え合う力 ・人や地域を大切に、協力する力			・将来をみとおす力 ・自分の目標を設定する力 ・目標達成のために計画を立てる力				
	4	5	6	7	8・9	10	11	12	1	2	3
行事	入学式 始業式 対面式 授業参観	修学旅行	市中総体 避難訓練	合唱コンクール 県中総体 三者面談	小鉄人発表会 生徒会役員選挙	終業式 始業式 体育祭	三者面談 キャリア教育講話 ファイナンスパーク	三者面談	私立高入試 (A日程)	私立高入試 (B日程)	公立高入試 三年生送る会 卒業式
	単元テスト(随時) 実力考査		実力考査(2回3回) 実力考査(4回)			実力考査(5回)					
教科	美術:自画像で自分の思いを表現しよう。①	英語:基本文を用いた文をみんなで作ろう。②	音楽:合唱で異学年と交流しよう②	数学:二次方程式を学び合おう。②	国語:スピーチで社会に思いを届けよう。②	理科:仲間と協力して光の道筋の規則性を見いだそう。②	社会:国際社会で働くために大切なことを考えよう。③	保健体育:現代的ゲームのデザインで異学年と交流しよう。②③	技術・家庭:よりよい生活を目指そう。③		
総合	【修学旅行②】 ・広い知見と豊かな情操を養う ・適切な判断力や行動力を培う ・情報の取捨選択、表現力を高める		【小鉄人発表会②】旅行の行事を入りに課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を通して情報を活用して自ら考える力を養う。			【ファイナンスパーク③】 お金に関する意思決定と進路選択		【卒業に向けての準備学習①】 ・自己を見つめ、表現する			
特活・道徳	【たく生き】 「何を学び、どう生きたか」を振り返り、社会へ接続するために必要な力について理解させる。 自分づくりノート1回目	【たく生き】「しなやかマインド」を育てよう① 様々な変化をしながら捉えることができるようになる。		自分と向き合うことの価値について本を介して考えさせる。		アットーク「あなたの未来」。①③		「自分づくりノート」を活用し、様々な課題を乗り越え成長してきたことに気付かせ、高校生活への意欲を高める。 自分づくりノート2・3回目		【たく生き】 「将来に職をつくる」をテーマに、自分づくりノート4回目	

今の子ども達には
これが必要と
絞る意識が大切

年間指導計画を生かすために

8

身につけさせたい力（子どもに伝える言葉で） 第1ステージ		行動目標（評価で使う言葉で） 第1ステージ	
自分を伸ばす力		自己を振り返るとき、自分の良さを知り、さらに進んで取り組もうとで	
粘り強く取り組む力		初めてのことや少し難しいことがあったとき、あきらめず粘り強く取り組	
つけない力	1学期（4月～7月）	2学期（9月～12月）	
自分を伸ばす力	【6月】国語 「すきなもののなかに」 自分の好きなものを伝え合い、お互いのことを知る。 【5月】国語 「あつまってはなそう」 伝えたり話したりして、感想をもつ。	【10月】国語 「しらせたいな見せたいな」 伝えたい内容を選び、相手に伝える。 【11月】図工 「のってみないないきたいな」 想像を広げて、工夫して表現する。	【11～1月】生活 「ひろがれえがお」 家族が互いに助け合っていることに気づき、自分の役割をはたそうとする。
	【6月】道徳 「ゆめをもってー沖中重雄ー」 夢に向かって努力する意欲を育てる	【11月】学校行事・大会 習に取りくむ。ちのよさをみつける。 【9～10月】学校行事・音楽 学園祭 最後まで練習に取りくむ。自分・友だちのよさをみつける。 【12月】学校行事・体育 マラソン大会 自分の目標に向かって粘り強く取り組む。	
粘り強く取り組む	【4～5月】体育 「固定遊具であそぼう」 運動に進んで取り組み、その動きや技ができる。	【6～7月】算数 「たしさん（1）」 「ひきさん（1）」 粘り強く計算問題に取り組む。	【10～12月】算数 「たしさん（2）」 「ひきさん（2）」 粘り強く計算問題に取り組む。
	キャリアの視点で振り返り		
評価	6月学級活動「キャリア・パスポート」	10月学級活動「キャリア・パスポート」	

年間指導計画を活用するために

9

身につけさせたい力（子どもに伝える言葉で） 第1ステージ		行動目標（評価で使う言葉で） 第1ステージ	
自分を伸ばす力		自己を振り返るとき、自分の良さを知り、さらに進んで取り組もうとで	
粘り強く取り組む力		しいことがあったとき、あきらめず粘り強く取り組	
つけたい力		期（9月～12月）	
		【国語 せたいな見せ 】	
		い内容を選び、 相手に伝える。	【11～1月】生活 「ひろがれえがお」
自分を伸ばす力	【5月 「あつ う」 伝えた て、感	【6月】道徳 「ゆめをもって	
		【7～9月】学校行事・ 体育 体育大会	【9～10月】学校行 事・音楽 学園祭
			【12月】学校行事・体 育 マラソン大会
	【4 「固 運動 その		
粘り強く取り組む		「ひきざん（1）」 粘り強く計算問題に取り 組む。	「ひきざん（2）」 粘り強く計算問題に取り組む。
評 価	6月学級活動「キャリア・パスポート」	10月学級活動「キャリア・パスポート」	

例

・振り返る活動を設ける。

・身に付けている力を、子ども達も意識できるようにする。

・「力」と「力」のつながりへの気付きを促す
声かけや働きかけを行う。



第3章 中学校におけるキャリア教育

第3節 キャリア教育推進のためのカリキュラム・マネジメント

中学校学習指導要領(平成29年告示)では、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくカリキュラム・マネジメントに努めるよう定めている。取組を組織的かつ計画的に進めるためには、運営を担う具体的な組織を決定し、教育課程の編成を含めたカリキュラム・マネジメントに関わる取組を各種計画に明確に位置付けることが重要となる。キャリア教育に関する学習活動もカリキュラム・マネジメントに関わる取組として、「全体計画やそれを具体化した年間指導計画などの各種計画に具体的な取組を位置付けること」、「具体的な組織を決定して進めていくこと」、「生徒が、学年末や卒業時まで『〇〇ができるようになる』など、具体的な目標(身に付けさせたい力)を設定すること」が必要である。



一人で

みんなで

学校全体で

「つなぐ」を実践

教育活動をつなぐ

キャリア教育の視点で子ども達に働きかければ、それぞれの教育活動を通じたキャリア教育を展開することができる。つなぐことで、効果的にキャリア教育を進めることができ、それぞれの教育活動の質も高めることができる。

校内をつなぐ

教育活動全体でのキャリア教育を計画的に実施していくためには、特定の校務分掌や学年担当の教員にだけ任せるのではなく、全職員で諸活動を体系化し、計画的、組織的に取り組むことが大切。

校種間をつなぐ

小学校においても生き方を考えさせ、勤労観や職業観を育む様々な取組があり、中学校からキャリア教育がスタートするわけではない。どのようなことを経験し、どのような力を既に身に付けているのかを意識しながら積み上げていくためにも、計画的、組織的な取組が必要。

キャリア教育研修パッケージの紹介

12

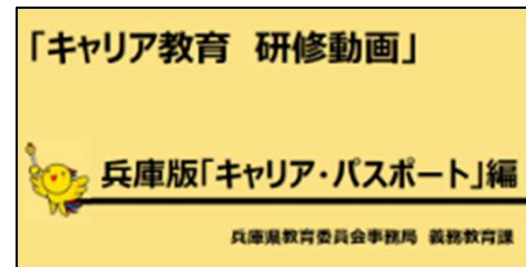
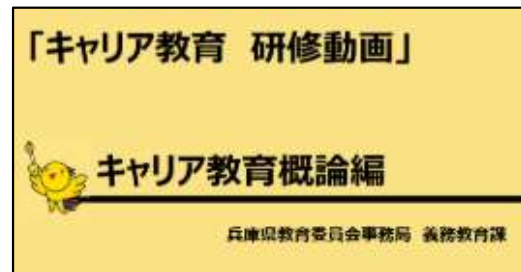
兵庫県教育委員会 義務教育課

キャリア教育研修パッケージ

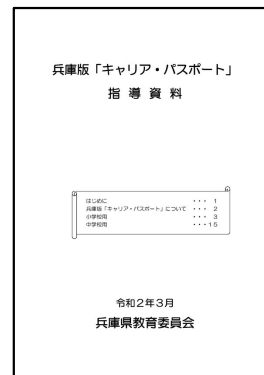
https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/gimu/cont_cate/careerpack/



キャリア教育の 研修動画(一例)



キャリア教育に関する Q&A、指導資料 指導の手引き、 実践事例集等



キャリア教育の 授業実践 (動画・リーフレット) キャリア・パスポート 活用事例

